

栃木県がまち未来創造事業計画（実績）書（単位事業調書）
【連携事業】

幹事市町	足利市	※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。
構成市町	真岡市、矢板市、那須烏山市、足利市	
事業名	「ツール・ド・とちぎ」のスタート・フィニッシュ地点における誘客促進事業	
事業主体の名称※		
代表者の名称※		
事業主体の所在※		
事業主体の概要	<p>団体の概要： 県や市町、地元経済界や報道機関等約70団体で構成される「ツール・ド・とちぎ実行委員会」は、主催者とともに国際自転車ロードレース「ツール・ド・とちぎ」の準備・運営を行っている。</p> <p>団体の目的： 「ツール・ド・とちぎ」の開催を通し、自転車を活用した栃木県内の更なる地域活性化に寄与するとともに、自転車先進県「とちぎ」のPR、ひいては栃木県の知名度向上に寄与する。 設立：平成28年1月23日</p>	
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>・本県には、地域密着型のプロサイクルロードレースチームである宇都宮ブリッツェンと那須ブラーゼンが拠点を構え、県内各地では国際レースや市民参加型のサイクルイベントが多数開催されるなど、自転車を活用した地域振興の機運が高まりつつある。</p> <p>・一方で、個々のレースや市民参加型イベントを自転車先進県「とちぎ」としての認知度・魅力度の向上、効果的な情報発信、観光周遊による交流人口の増加に繋がられていない。</p> <p>・そのため、いかに国際サイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」を契機として大会会場となる市町の魅力を発信し、地方創生を推進する取組みを行うかが課題となっている。</p>	
事業目的	<p>県内各市町を舞台とした国際公認のサイクルロードレースの開催を通じて、以下の目標を掲げてとちぎの地方創生を推進する。</p> <p>①自転車先進県「とちぎ」の世界に向けた発信、栃木県のブランドイメージの向上</p> <p>②開催地域の歴史・文化・食などの資源を活用したとちぎの新たな魅力の創造と、インバウンドを含めた観光誘客による地域経済の活性化</p> <p>③スポーツ文化の振興による県民の健康づくりの推進</p> <p>④若者をはじめ多くの県民が大会に関わることによる郷土愛の醸成</p>	
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■第3回「ツール・ド・とちぎ」の開催 開催日 平成31年3月22日（金）～24日（日）の3日間 第1ステージ：井頭公園（真岡市）個人タイムトライアル 第2ステージ：道の駅やいた周辺コース（矢板市）周回レース 第3ステージ：JR那須烏山駅（那須烏山市）～足利市総合運動公園（足利市）ラインレース</p> <p>■取組内容 「ツール・ド・とちぎ」の開催に伴い、大会のスタート・フィニッシュ地点となる市町（開催年度毎に開催市町が変更される）が連携し、大会を契機とした地方創生に繋げるための誘客促進事業を実施する。 ・大会当日におけるスタート・フィニッシュ地点では、「ツール・ド・とちぎ実行委員会」の運営により、セレモニーやステージイベント、ビジョンカーを活用したパブリックビューイング等が実施され、多数の来場者が見込まれる。</p> <p>・更に、スタート・フィニッシュ地点となる市町では、チームの宿泊地となるほか、県外から訪れた観客の宿泊地となる可能性が高く、またテレビや新聞等での露出も多いため、この機会をとらえて会場への来場者を市内への周遊観光に繋げ、交流人口の拡大のほか、更なる誘客促進やPR情報の発信、地域経済の活性化を図る。</p> <p>・大会会場では、毎年度ごとにスタート・フィニッシュ地点の市町が主催者や県、関係者との連絡・調整を図り、セレモニーやステージイベント、本市の観光PRや特産品の販売等を行う。</p> <p>※上記の取組は「ツール・ド・とちぎ実行委員会」と連携・協力して実施し、第3回大会においては、スタート・フィニッシュ地点に該当する4市（真岡市・矢板市・那須烏山市・足利市）が同委員会に負担金を支払うことで参画する。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>・第4回大会のスタート・フィニッシュ地点の市町が同様の事業を継続して実施する。 ・今回の開催市町についても、引き続き大会開催を契機とした地域活性化に繋がる取組を行っていく。</p>	
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】市の魅力を高め足利への人の流れを作る。</p> <p>【KPI】観光入込客数 H26(355万人)→H31(400万人)</p> <p>【KPI達成状況】 H27：394万人、H28：411万人、H29：475万人</p>	

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第3回「ツール・ド・とちぎ」スタート/フィニッシュ地点での誘客促進事業・セレモニー・イベントの開催・観光情報等の発信等	今後、大会のスタート・フィニッシュ地点に該当する市町が同様の事業を継続して実施する。	今後、大会のスタート・フィニッシュ地点に該当する市町が同様の事業を継続して実施する。		今後、大会のスタート・フィニッシュ地点に該当する市町が同様の事業を継続して実施する。
事業費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	2,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

担当課(グループ・係)名	市民スポーツ課
担当者名	吉田 智和
電話	0284-20-2232
連絡先 FAX	0284-20-2214
E-mail	s-sports@city.ashikaga.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画（実績）書（単位事業収支予算（精算）書）

市町名	足利市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「ツール・ド・とちぎ」のスタート・フィニッシュ地点における誘客促進事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市負担金	2,000,000	50万円×4市（真岡市、矢板市、那須烏山市、足利市）
計	2,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
負担金、補助及び交付金	2,000,000	2,000,000	1,000,000	0	ツール・ド・とちぎ実行委員会への負担金（スタート・フィニッシュ地点イベント関係）
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,000,000	2,000,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画（実績）書（連携事業支出整理票）

単位事業名		「ツール・ド・とちぎ」のスタート・フィニッシュ地点における誘客促進事業											対象年度	30	年度
科目	予算額 (精算額)	真岡市支出額			矢板市支出額			那須烏山市支出額			足利市支出額			自主財源等	
		自主財源等	県交付金		自主財源等	県交付金		自主財源等	県交付金		自主財源等	県交付金			
負担金、補助及び交付金	2,000,000	500,000	250,000	0	500,000	250,000	0	500,000	250,000	0	500,000	250,000	0		
計	2,000,000	500,000	250,000	0	500,000	250,000	0	500,000	250,000	0	500,000	250,000	0		

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。